

平成 31 年 度 一 般 入 学 試 験 問 題

国 語

(2 月 8 日)

開始時刻 午後 1 時 00 分

終了時刻 午後 2 時 00 分

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は 20 ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

① 受験番号欄

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名とフリガナを記入してください。

4.

三

 と

四

 はいずれか一方を選択してください。両方解答した場合は高得点の方を合否判定に使用します。

5. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

 と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号 10 の解答欄の◎にマークしてください。

(例)

10	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
----	-----	-----	-----	-----	-----

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、後の問一〜九に答えなさい。

一口に印象派は「光を描く」という。光と色彩を求めて印象派は必然的にコガイに出た。X 外光派といわれる（チューブ入りの絵の具の発明がこれを可能にした）。自然の光は刻々にも変わり、その光の変化の中で、世界もまた刻々と変わる。モネは農家の積み草、ポプラの並木、寺院などを、光の刻々の変化の中で何度も画いたことが知られている。

光と色彩の刻々の変化の中では、^A不変な物の実体性は二の次である。物のリンクは失われ、あるのは光と色彩と雰囲気だけになる。ロンドンでモネの画いたロンドン・ブリッジはもはや建造物ではなくて光る霧であつた。それを作家オスカー・ワイルドは「ロンドンの霧は、どうみても自然の方がモネを真似しているようだ」と表現した。その気分はターナーと同じである。ターナーの晩年の絵もワッとした色彩のウズで、形もなにもあつたものではない。モネは明らかにターナーの影響を受けている。

色彩についていえば、ピサロは原則として三原色以外は使わなかった。ピサロのパレットから黒、茶、黄土などはなくなった。Y あるとき（注1）はもっぱらスペクトルの色を使つた。ルノアールのパレットは「虹のパレット」といわれた。I

影も黒や灰色では画かれない。影は光の色の補色であつた。これはゲーテの「影の彩り」に似たようなものであるが、ゲーテもシュヴールも（注2）ない。これはもはや画家の共通の直観というべきだろう。

光を描くという印象派の手法を心理学的に言えば「^C感覚的リアリズム」だということが出来る。もし感覚という用語を心理学的な意味で使うならば、である。

もともと私たちが世界を見るときに、眼に入ってくるのは光である。それが網膜に映像を結び、その映像が脳中枢へ行くが、そこで心的作用が働いて映像に色がついたり形ができたり、意味が与えられたりする。II

私たちが世界を認識する仕方は、このように心的処理が加えられた出来上りをみている。この出来上りを世界の「知覚」とか「認知」と呼んでいる。この出来上りは世界のわりと忠実なイメージで、これをそのまま絵画化しようとするのが、写実主義である。

映像に対しては多かれ少なかれ心的処理が加わるが、そのような造作が加わらない生の映像を「感覚」という。印象主義はこの意味での感覚主義で、世界からの光の映像を生そのまま絵画化しようとするものである。生の程度にもいろいろあるが、多分もっとも生の状態はW だけの状態であろう。形はそのつぎである。III

「感覚を見る」というのは普通の状態ではないから、多少とも分析的な態度が必要である。どうして印象派がそのように分析的になったかについて

は、シュヴールルにおいて述べたように、実証主義の一つの現れとみることができる。

心理学でも科学的な分析的心理学が出てきたのがこの頃で、ヴントの実験心理学がそれであった。ヴントはドイツの心理学者であるが、意識の基本要素は感覚と感情であるといった。^(IV) これまでも何度か話題にしたゲシュタルト心理学は反ヴント派で、分析には批判的である。ゲシュタルト心理学には知覚というコンセプトはあっても、感覚というコンセプトはない。

^D 映像に対する心的作用の効果というものは、見る人の解釈とか意味づけ、あるいは期待や感情の問題である。この側面を重視すると絵画はロマン主義とか表現主義となる。ロマン主義は理想や空想にひたる。

表現主義はエクスプレッショニズムというが、それは心の内なるものを外（エクス）に表現するということである。^(V) 表現主義はドイツだけではなく、ゲーテを生んだドイツの土壌は表現主義にあっていた。

実際、フランス印象派が光を謳歌^{おうち}している間も、ドイツは依然としてロマン主義が続き、ますます重厚さが増していった。今世紀、それはドイツ表現主義となるが、もとをたどればその思想はゲーテからゴシックにさかのぼるドイツ的イデアリズムである。

印象主義は英語ではインプレッショニズムで、つまり外から内（イン）へと入ってくる光を描くのであるが、それを感覚のレベルで受け止めてしまうのである。感覚というのは心理的というよりは生理的であり、客観的、非個性的である。

Z

リアリズムである。フランスにはデカルト以

来、フランス唯物論といわれるものがあるが、その意味で印象主義はフランス的なものかもしれない。

（金子隆芳『色彩の心理学』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注） 1 スペクトル——光をプリズムなどを通したときにできる虹のような色の帯。

2 シュヴールル（一七八六—一八八九）——フランスの化学者。

問一 傍線部ア、イ、ウの漢字と同じ漢字を用いるものを、次の選択肢からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、ア

が

 、イが

 、ウが

 。

ア コガイ

- | | | | | |
|---------|----------|----------|---------|---------|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 士気をコブする | ショウコを集める | コセキ調査を行う | カッコたる決意 | コドクを愛する |

イ リンカク

- | | | | | |
|-------------|------------|---------|----------|---------|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 優れたチヨウカクを持つ | 捜査のシカクに気づく | カクシンに迫る | キヨウカクを開く | ジンカクを磨く |

ウ ウズ

- | | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| ヒガタで貝を掘る | カチュウの栗を拾う | 事件のカチュウにいる | 人口がゾウカする | カジョウに反応する |

問二 本文からは、「したがって極めて個人的にもなる。」という一文が抜き出されている。どこに戻したらよいか。最も適切な箇所を、次の選択肢

から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

 。

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| Ⅴ | Ⅳ | Ⅲ | Ⅱ | Ⅰ |

問三 文中の空欄部

X

Y

Z

に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

5

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| a | X | つまり | Y | それから | Z | また |
| b | X | それから | Y | そこで | Z | つまり |
| c | X | つまり | Y | また | Z | それから |
| d | X | それから | Y | つまり | Z | そこで |
| e | X | そこで | Y | また | Z | つまり |

問四

傍線部Aの「不変な物の実体性」に最も近いものはどれか。次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

6

- a 網膜に結んだ映像
- b ロンドンでモネの画いたロンドン・ブリッジ
- c 実証主義の一つの現れ
- d 世界の「知覚」とか「認知」
- e エクスプレッショニズム

問五

傍線部Bの「画家の共通の直観」とは何か。最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

7

- a パレットから黒、茶、黄土色をなくすこと。
- b 光の変化の中で、世界も刻々と変わるという認識。
- c 画家に共通している理想や空想。
- d 光を感覚のレベルで受け止めること。
- e 光の映像を生のまま意味づけること。

問六 傍線部Cの「感覚的リアリズム」の説明として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

8。

- Ⓐ 光の映像に対して心的処理を加え、世界の忠実なイメージを浮かび上がらせた上で、形よりも色彩を優先し表現しようとするもの。
- Ⓑ 分析的な態度で「感覚を見る」ことを通して、刻々と変わる光の中で刻々と変わる世界を認識し意味づけ、表現しようとするもの。
- Ⓒ 眼に入ってきた光を心的処理が加わらないもとも生の状態のまま、世界からの光の映像として絵画に表現しようとするもの。
- Ⓓ 心の内なるものを外（エクス）に表現するエクस्पレッションニズムをさらに進め、眼に入ってきた光の感覚を忠実に表現しようとするもの。
- Ⓔ 外から内（イン）へと入ってくる光を描くインプレッションニズムの考え方に基づき、心的処理の結果を効果的に表現しようとするもの。

問七 文中の空欄部 W に入る言葉として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

9。

- Ⓐ 心的処理
- Ⓑ 色彩
- Ⓒ 光と色
- Ⓓ 映像
- Ⓔ 印象

問八 傍線部Dの「映像に対する心的作用の効果」にあてはまらないものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、10。

- Ⓐ 見る人の期待や感情
- Ⓑ 見る人の生理的感覚
- Ⓒ 映像に色や形を与えること
- Ⓓ 映像に解釈や意味づけを与えること
- Ⓔ 世界のわりと忠実なイメージ

問九

本文の内容と最も合っているものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

11。

- ① 印象主義はフランス的で、意識の基本要素として感覚や感情を重視するのに対し、表現主義はドイツ的で、期待や感情を重視し、心の内を外に向けて表現しようとする。
- ② 印象派が光を謳歌している間も、ロマン主義の画家たちは理想や空想にひたり、心の内なるものを客観的に表現しようとしています。重厚さを増していった。
- ③ 印象主義の画家たちは、自然の光は刻々に変わり、光の変化の中で世界も刻々に変わるので、解釈や意味づけもそれに応じて変わらざるを得ないと考えていた。
- ④ 印象主義の画家たちは、眼に入ってくる光を生理的、客観的、非個人的に感覚のレベルで受け止め、世界からの光の映像を生そのまま絵画化しようとした。
- ⑤ 印象派の画家たちは「光を描く」ために、パレットから黒や灰色を取り除き、影を描くときも光の色の補色として三原色以外は使わずに、色彩と雰囲気だけを重視した。

次の文章を読んで、後の問一～八に答えなさい。

朝早くに目が覚めて、それが X でなかったら、タイテイ私は水族館に足を運ぶ。

アパートの前からバスに乗って約二十分。数年前に埋め立て地に建てられたその水族館は、休日には親子連れや若いカップルで溢れ返る。しかしさすがに平日の午前中は空いていた。そんな時間にやって来るのは、幼児を連れた主婦か、私のような得体の知れない一人客ぐらいだ。

切符は自動販売機で買う。大人一枚八百円。高いなと毎回思うけれど、まあ普段いろいろと節約しているので、このぐらいの贅沢は自分に許そうと思う。それに映画一本見たらこの倍のお金がかかるのだから、それを思ったら安いだろう。

買った切符を入口に立っているアルバイトの女の子に渡すと、その子はパンフレットを差し出した。私は首を振ってそれを断る。何度か会ったこのアルバイトの女の子が、私のことをまだ覚えていないことに安堵する。いつも一人で来て気味が悪い女だと思われるよりはずっと気が楽だ。

でも館内に一步足を踏み入れれば、そんなことは忘れてしまう。斬新なデザインの館内は青い闇に包まれている。ほとんど黒に近い群青色の壁に沿って、くっきりと四角くガラスがはめ込まれている。その中はうっとりするような水色だ。湛えられた水はゆらゆらと揺れて、床に備えられた管から酸素のネックレスが昇っていく。

整然と並んでいる水槽の中にはちらちらと魚が泳いでいる。山吹色、玉虫色、深緑、浅葱色。碧い世界に小さな色が躍る。

私は水槽のひとつひとつを、ゆっくりと眺める。もう何度も来ているので、説明のプレートは熟読していた。熱帯の魚、日本の川の魚、アマゾンの魚、放電する魚。ガラスに鼻の頭をくっつけるようにして、私は水の世界を覗き込む。耳の中にはこぼこぼと小さな水音が張りついていて、私はいつも深海の底を歩いている錯覚を覚える。

順路に沿って私は二階への階段を上った。そして、上りきった所に立ち止まり、目の前にそびえ立つ水の壁を見上げた。

足元から天井まで、巨大なガラスに区切られたその向こうに、満々と水を蓄えた空間があった。まるで海をそのまま円柱の形にくり抜いて、そこに置いてあるようだ。

その中に、イルカが二頭泳いでいた。大きな水槽の中、彼らは私の頭の上を自由自在に跳ねていた。泳いでいるというよりは、空を飛んでいるようだ。その光景に、私は何度来ても息を飲んでしまう。

他の小さな水槽と同じようにイルカの巨大な水槽の前にも、手すりは備えつけられていない。きつともものすごい水圧にたえられる強度のあるガラスなのだろう、そのガラスに客は頬をつけることもできる。けれど私はイルカの力強い動きにアットウされてか、そこまで近寄るのは何だか恐かった。

水槽の前にはゆったりと広くスペースが取られていて、弧の形に沿っていくつかベンチが置いてある。見ると二人の先客がいた。一人は七十を少し出たように見えるおじいさんで、もう一人はジーンズにトレーナー姿の男の子だ。二人とも何度かここで顔を合わせたことがあるので、常連さんと言えるだろう。

でも私達は挨拶^{Fあいさつ}なんかしない。お互い微妙に視線をそらし、それぞれ距離を取ってベンチに座る。私は一番手前のベンチに腰を下ろし、イルカの水槽を眺めた。

二頭のイルカはオスとメスだと説明のプレートに書いてある。大きさはほぼ同じに見えるけれど、すぐに私は二頭を見分けられるようになった。

Y

ここにはもう何度通っただろう。私はぼんやり考える。体調を崩して仕事を辞めてからそろそろ半年がたつ。水族館に来るようになってからは三月ほどで、週に二度ぐらいは訪れている。

具合がよくないのに、バスに二十分も乗ってここへ通う気になったのは、^ウタイクツしのぎに買った雑誌の小さな記事に〈イルカ療法〉という言葉を見つけたからだ。

それは、鬱病^{うつびょう}や自閉症といった精神障害に対する治療法のひとつで、方法はただイルカと一緒に泳ぐだけだそうだ。泳げない人はライフジャケットなどを着て行う。

〈イルカ療法〉を受けた人は例外なく生きる喜びを感じるようになり、自分にも社会に貢献する役割があると気づくようになる。最近ではガンや交通事故の後遺症など肉体的な病気にも試され効果をあげている、とその記事にはあった。

読んだ時は「ふーん」と思っただけだった。海でイルカと一緒に泳げたら、それはなかなかできない体験だろうし、^G楽しくて気持ちがいいだろう。でも、そんなことで病気が治るのなら誰も苦労はないのだ。その時私はまだ仕事を辞めたばかりだったので、何となく腹^Gさえたって、その雑誌を最後まで読まずにゴミ箱に突っ込んだ。

けれど、凍えるような冬を抜け、空気が柔らかくなりアパートの前の桜の木に花が咲くと、自分が少し元気を取り戻してきたことを感じた。病院とコンビニに行く以外は部屋に閉じこもっている生活に飽きたこともあった。そろそろ、これからの身の振り方を考えなければならぬなと思った時、その〈イルカ療法〉のことを思い出したのだ。

それを実践している医療機関を捜す気力はなかったし、自分で海に行ってイルカを捜す気力もつとなかった。けれど、とりあえず水族館に行けば入館料だけでイルカを見ることはできる。一緒に泳いだり、つるつとした肌触りのよさそうな体には触れることはできないけれど、眺めることはでき

る。

幸い私のアパートの前から出ているバスに乗れば一本で水族館まで行ける。症状は相変わらずだったが、外出できないというほどでもない。試しにちよつとイルカを見に行ってみようか、という気に私はなった。

（山本文緒「いるか療法——〈突発性難聴〉」による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

問一 傍線部ア、イ、ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の選択肢からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、アが 12、イが 13、ウが 14。

ア タイテイ

- ㊦ 権力にテイコウする
- ㊧ 台風によるテイデン
- ㊨ 西高トウテイの気圧配置
- ㊩ カテイ教師が来る
- ㊪ 目標をセツテイする

イ アットウ

- ㊦ 目的地にトウチャクする
- ㊧ 血を見てソツトウする
- ㊨ 資金をトウニユウする
- ㊩ デントウ工芸品
- ㊪ 対応をケントウする

ウ タイクツ

- ㊦ 国家のアンタイを願う
- ㊧ タイダな性格
- ㊨ 海外でのタイザイ期間
- ㊩ 学業にはニンタイが必要だ
- ㊪ 部屋からタイシユツする

問二 空欄 X に入る表現として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、15。

- Ⓐ 休館日
- Ⓑ 出勤日
- Ⓒ 土曜日や日曜日
- Ⓓ 恋人とのデートの日
- Ⓔ 運勢の悪い日

問三 傍線部 A・B・D・E のようなイルカの水槽についての描写の効果として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、16。

- Ⓐ 私が水槽のつくりに興味をもっている様子を表すことができる。
- Ⓑ 私が巨大な水槽を設置する技術に驚いている様子を表すことができる。
- Ⓒ 私がどの水槽にも近づきたくないと感じている様子を表すことができる。
- Ⓓ 私がイルカの水槽に近づくことに恐れを感じている様子を表すことができる。
- Ⓔ 私が水槽が割れてしまうのではないかと感じている様子を表すことができる。

問四 傍線部 C の表現技法として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、17。

- Ⓐ 直喩法
- Ⓑ 隠喩法
- Ⓒ 換喩法
- Ⓓ 提喩法
- Ⓔ 対句法

問五

傍線部Fの理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

18。

- ㉑ 館内が無音に近いほど静かであったため。
- ㉒ 大きな声で挨拶あいさつをすると相手を驚かせてしまったため。
- ㉓ 既にお互いの素性を詳しく知っているため。
- ㉔ それぞれが思い思いの時間を過ごしているのを邪魔したくないため。
- ㉕ 相手に好意を寄せていることに気づかれないようにするため。

問六

Y

に次に示す(1)～(4)の文を並べ替えて入れるにはどのような順序で並べたらよいか、最も適切なものを、次の選択肢から一つ

選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

19。

- (1) よく見れば鼻先や尾びれの形が違ちがうし、つるんとした肌も微妙に色が違って、片方は背中の真ん中あたりにうつすらと白い斑点はんでんがあつた。

- (2) 勝手に斑点はんでんのある方を「つぶつぶ」、無地の方を「プレーン」と呼んでいた。
- (3) でも私には、どちらがオスでメスだかは分からない。
- (4) 簡単だ。

- ㉑ (1) ↓ (2) ↓ (3) ↓ (4)
- ㉒ (3) ↓ (1) ↓ (4) ↓ (2)
- ㉓ (3) ↓ (4) ↓ (2) ↓ (1)
- ㉔ (4) ↓ (1) ↓ (3) ↓ (2)
- ㉕ (4) ↓ (3) ↓ (2) ↓ (1)

問七 傍線部Gの理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、20。

- ① 泳ぐことが苦手な自分はイルカ療法に向いていないと感じられたため。
- ② 精神障害に例外なく効果があるとするイルカ療法についての記事が軽々しいものに感じられたため。
- ③ ガンや交通事故の後遺症などの肉体的な病気に効果があるとはとても思えなかったため。
- ④ イルカ療法を実践している医療機関を捜すことが容易ではないことが分かり切っていたため。
- ⑤ 仕事をやめてすぐであった当時はイルカ療法を実践する時間がなかったため。

問八 傍線部Hのような気分に至った理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

21。

- ① 何らかの前進が得られるかもしれないと淡い期待が生じ、自宅近くの水族館に行ってみようと思ったため。
- ② 体調がよくなり、イルカに触れることができれば社会復帰が実現すると考えたため。
- ③ イルカ療法を試そうと思えるほどに元氣を取り戻したが、イルカと泳ぐにはあまりにもお金が必要であったため。
- ④ 水族館では人と話す必要がなく、以前から行ってみたい場所であったため。
- ⑤ 平日の午前中であれば人も少なく、映画を見るよりも安い金額で時間を潰すことができるため。

次の文章を読んで、後の問一～問六に答えなさい。

信濃の国末木の観音とて、山の峰に立ち給ふ有りけり。此処に若き者寄り合ひ、「さるにても誰かある、今夜観音堂へ行き、明日まで居侍らん」と云ひければ、言葉の下に、痴の者一人、「それこそ易き事なれ、さらば我行きて見ん」と云ひも敢へず出でぬ。^(注1)

彼の堂は、人家より二十四町行きて、深山なれば、昼だにも往来稀なる所にて、孤狼野干の声ならでは、音する物もなかりけり。彼の物、堂の中に入りて、夜の明くるをぞ待ち居たり。夜半過ぐる程になりて、朧月に見れば、座頭一人、琵琶箱を負ひて杖をつき、堂の内に入り来たる。

不思議に思ひ、いかさま唯者にてはあらじ、と、まづ、「何者なれば此処に来たれるぞ」と云ひければ、「さては人の坐しけるか、其方は何人ぞ、

我は此の山に居侍る座頭にて、何時も此の観音に歩みを運び、夜は声を使ひ候はん為、詣で侍る。常に参り通ひ候へども、人の有りける事はなし。いと不審にこそ候へ」と、咎めければ、「云々の仔細有りて来たりたり。さてはよき連れにて侍るものかな。向後は我等が方へも来たり候へ、^(注2)そんなちやうそこ程に居侍る」など語り、平家を一句所望しければ、「易きことなり」とて、琵琶を調べて、一句語りければ、「世の常、平家を聞き侍

れども、斯やうの面白き事はなし、節より始め、音声、息つき、なかなか目を覚ましたる事どもなり。今一句」と、所望すれば、また語る、愈々感に堪へにけり。^(注3)

平家過ぎて後、転手きしみければ、温石を取り出だし、糸に塗りけるを、「それは何と云ふ物ぞ」と問ふ。^(注4)「これは温石と云ふ物なり」「ちと見せ給へ」と云ふて、手に取りけるが、左右の手に取り付き、何とすれども離れず。手は板敷きに著きて、働かざる時、彼の座頭、長一丈もあるらんと覺しく、頭は焰立ち、夥しき口大きに裂け、角生ひて、怖ろしとも云はん方なし。「汝は何とて此処に来たれるぞ」とて、首を顔を撫で、色々になぶり威して後、何処ともなく失せぬ。

男は漸う温石を離しけるが、無念比ひなくて居たる処に、松明の数数多見えて、人來たれり。みれば宵の座敷に有りつる友達なり。「漸う夜も明け方になれば、迎ひに来たり候。さて何事も珍らしき事は無かりつるか」と云へば、「その事にて候」とて、始めよりの事ども、細々と語りければ、皆人手を打ちて、どつと笑ふを見れば、又件の化け物の形なり。

其の時にこそ消え入りにけり。夜明けて人來たり、漸う氣を付けけれども、見る人毎に、「化け物の来たりて吾を誑す」とのみ人に云ひて、少時人の心地もなかりしが、遂には本性になりて、斯く語り侍る。

(注) 1 痴の者——ここでは無鉄砲なことを好む者との意。

2 そんぢやうそこ程——どここの辺に。

3 転手——琵琶や三味線の頭部を貫いて糸を巻き付けるもの。

4 温石——からだを温める用具。軽石などを火で焼いて、布に包んで懐に入れる。

問一 傍線部ア、イ、ウの解釈として最も適切なものを、次の各群の選択肢からそれぞれ一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、アが 22、イが 23、ウが 24。

ア さらに我行きて見ん

- | | |
|-----|-------------------|
| (a) | それなのに私が行って見るのだろうか |
| (b) | それでは私は行くことができない |
| (c) | ところで私は行って見るのだろうか |
| (d) | それなのに私は行かねばならない |
| (e) | それでは私が行って見てみよう |

イ いかさま唯者にてはあらじ

- | | |
|-----|--------------|
| (a) | 悪智恵のある者に違いない |
| (b) | きつと唯者ではないだろう |
| (c) | 唯者であるに違いない |
| (d) | いんちきをする者であろう |
| (e) | きつと唯の人であろう |

ウ 何処ともなく失せぬ

- | | |
|-----|----------------|
| (a) | どこにも行ってくれない |
| (b) | きつとどこにでも行ってしまう |
| (c) | どこともなく行ってしまった |
| (d) | きつとどこへも行けないだろう |
| (e) | どこにも行くことはできない |

問二 傍線部A「云ひも敢へず出でぬ」の文法的な説明として適切でないものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

解答番号は、25。

- Ⓐ 並列を表す係助詞の「も」が用いられている。
- Ⓑ 下二段動詞の「敢ふ」が用いられている。
- Ⓒ 打消の助動詞の「ず」が用いられている。
- Ⓓ 下二段動詞の「出づ」が用いられている。
- Ⓔ 打消の助動詞の「ぬ」が用いられている。

問三 傍線部B「不審」と言う理由を示した本文の言葉として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、26。

- Ⓐ 我は此の山に居侍る座頭にて
- Ⓑ 何時も此の観音に歩みを運び、夜は声を使ひ候はん為
- Ⓒ 常に参り通ひ候へども、人の有りける事はなし
- Ⓓ 云々の仔細有りて来たりたり
- Ⓔ 易きことなり

問四 傍線部C「よき連れにて侍るものかな」とあるが、このように言う理由として最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、27。

- Ⓐ 音一つしない山奥で朝まで過ごすという時に、一緒にいる人がいれば何かと安心だから。
- Ⓑ 突然現れた人が、ここに来た理由を事細かに説明してくれるような信頼できる人だったから。
- Ⓒ 何もない山奥で過ごさなければならぬと思っていたら、琵琶を演奏できる人が現れてうれしくなったから。
- Ⓓ せっかく一緒に過ごす仲間ができたと思ったのに、けんか腰に話しかけられて期待が外れたから。
- Ⓔ 相手と自分の二人で一晩を過ごすはめになり、よき仲間を得るのは難しいと感じたから。

問五 傍線部 i、ii、iii の言葉の発話者の組み合わせとして最も適切なものを、次の選択肢から一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号

は、28。

- | | | | |
|-----|----------|-----------|------------|
| (a) | i 痴の者(男) | ii 座頭 | iii 痴の者(男) |
| (b) | i 平家 | ii 痴の者(男) | iii 痴の者(男) |
| (c) | i 座頭 | ii 痴の者(男) | iii 座頭 |
| (d) | i 痴の者(男) | ii 座頭 | iii 平家 |
| (e) | i 座頭 | ii 平家 | iii 痴の者(男) |

問六 傍線部 D「少時人の心地もなかりしが」とあるが、このような状態になった理由を説明したものとして最も適切なものを、次の選択肢の中から

一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、29。

- (a) 人気のない山奥で一晩過ごした体験を、やって来た人たちに語ったのだが、彼らは手をうって笑うばかりで褒めてくれなかったため、勇気を示すのは難しいものだと感じているから。
- (b) 化け物を見た衝撃から気を失ってしまい、夜が明けて友人が助けてくれた後もその症状が消えなかったため、今自分が接している人も化け物なのではないかと疑心暗鬼にかられているから。
- (c) 山奥の観音堂での出来事について事細かに話したにもかかわらず、友人は笑って済ませようとしたため、友人が化け物のように見えて友情とは何かと煩悶しているから。
- (d) 温石を離れた後にやって来た人たちに不思議な体験を話したが、その人たちもまた化け物であったため、本当の人を見てもまた化け物にだまされているのではないかと動揺しているから。
- (e) 夜明けとともにやって来た人たちも化け物であったことから、その後にやって来た人のことも気をつけて見るようにしていたため、優しさを欠いた行動をとってしまったから。

四

の問題については、著作者より作品の二次使用について、許諾が下りていないため、掲載していません。

